

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		第3回 福津市食育推進会議
開催日時		令和8年 10月 2日（金） 午後 2時 0分から 午後 3時30分まで
開催場所		市役所本館2階大会議室
委員名		（1）出席委員 梅木 陽子 城野 加代子 山村 裕一郎 花田 砂恵子 古和 隆彦 田島 勝彦 中島 美香 林 チヨ （2）欠席委員 児島 由美 松尾 祥子
所管課職員職氏名		こども家庭部 部長 中村 雅美 子育て世代包括支援課 課長 朝長弘美 子育て世代包括支援課 保健指導係長 安部真理 子育て世代包括支援課 保健指導係 丸山 康子 子育て世代包括支援課 保健指導係 古谷菜々美
会議	議 題 （内 容）	・第3次福津市食育推進計画素案について
	公開・非公開の別	公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	第3次福津市食育推進計画（素案）
会議録の作成方針		録音テープを使用した要点記録
その他の必要事項		

1. 事務局説明

• 第三次福津市食育推進計画素案について（事務局：丸山）

- 全体的な構成は第2次計画を踏襲。人口構成及び高齢化率の推移グラフなどは国勢調査の結果に基づき、令和7年度の結果公表後に追記予定。
- 前回（7月31日）の会議での意見やプロジェクト会議での検討結果を踏まえ、修正箇所を赤字として記載。主な修正ポイントは以下の通り。
 - **行動目標2**：「交流や体験活動」を「交流体験」に変更。具体的な取組も「充実を図ります」から「継続します」に変更。
 - **表記の統一**：「食に関するイベント」「食育に関するイベント」の表記を「食育に関するイベント」へ統一。
 - **指標の整理・修正**：野菜の摂取目安量を「1日の摂取目標量350g」へ表記を変更。果物も同様に1日の摂取目標量で表記し、糖尿病患者等への注釈を追加。高齢者の配食サービスの対象要件を具体的に明記。
 - **その他**：災害時の食料備蓄に関する行動目標の追記、環境基本計画との整合性により、ごみの減量に関する一部項目の削除、ホームページやSNS等の情報発信に関する記載の追加。また、指標6および11のアンケート調査結果の文言変更について説明。

2. 質疑応答・意見交換

• 計画期間と中間見直しについて

- **田島委員**：計画期間の10年は長すぎるのではないかと。また、10年とした場合の途中の達成率は算出するのか。
- **事務局（安部）**：計画期間を10年としている理由は、食という柱となる部分のウエイトが大きく、中長期的な視点と取り組み

が必要なためである。ただし、計画期間の中間で調査・評価を行い必要に応じて見直しを行う。

- **梅木会長**：計画見直しの可能性についての文言も 5 ページに記載が入っているため、必要に応じて見直せるので了承したい。

- **計画における市民の主体性や現状値の明記について**

- **梅木会長**：計画書内に市民の役割や主体性を引き出す工夫が見えにくい。また、現状値が何を根拠にしているか（アンケート調査の結果であることなど）が初見の人に分かりづらいため、冒頭の表などで明記してほしい。
- **事務局（朝長）**：計画策定時のアンケート調査結果に基づくものである旨や、ベースラインであることが伝わるよう、表現を修正する。

- **数値目標に対する市の施策について**

- **林委員**：11 ページの野菜摂取量などの目標値が非常に高い数値になっているが、これに付随して市はどのような施策を打っていくのか。
- **事務局（丸山）**：ご指摘の 11 ページの数値は平成 27 年度に立てた第 2 次計画の目標値である（35・36 ページが今回の新しい指標）。今後は SNS や LINE を活用したイベント情報の発信など、市民が参加しやすい仕組みづくりを進める。
- **事務局（朝長）**：ご指摘の目標値は第 2 次と第 3 次で勘違いのないような表現へ修正する。

- **交流体験の取組や人材育成について**

- **梅木会長**：計画書の「交流体験を継続します」という表現について、現状維持にとどまらず、場や人材の育成など一層の充実を図る工夫が必要ではないか。
- **林委員**：「継続します」では前年踏襲の印象を受ける。「なお一層充実します」など、前向きでインパクトのある表現にすることで市民への伝わり方も変わるのではないか。
- **中島委員**：計画を実行に移すための「仕組みづくり」が重要。デジタル化が進む中で、計画書と実際の取組（ホームページや

SNS など）がリンクし、市民が行動につながる工夫があるとよい。

- ・ **事務局（丸山）**：イベント情報の LINE 配信やInstagramの活用など、情報発信の統一と連携を進めている。

・ **学校給食・保育所給食への地元産食材の利用について**

- ・ **城野委員**：学校給食や保育所給食への地元産食材の利用は、これまでも率先して行ってきたものであり、後退させず継続・推進してほしい。
- ・ **花田委員**：学校の大規模化や調理の手間、供給量の問題などで地元野菜を揃える難しさがあるが、なるべく提供しようと頑張っている。また地元野菜を使ってもらえると本当に助かる。市民や子ども達が旬のものを知る機会の提供をしてほしい。
- ・ **古和委員**：JA でもみそづくり体験などを通じて食育活動に力を入れている。学校や地域と連携しながら取り組んでいきたい。
- ・ **林委員**：小規模校での先進的な取組（無農薬野菜の導入など）の事例もある。少しずつでも「推進していく」という姿勢が伝わる表現にしてほしい。
- ・ **事務局（朝長）**：大量調理の現場では地元産だけで必要量を賄うことが困難な実情があるが、地元産を重視するスタンスに変わりはない。具体的な取組の文言に「地元産・県産食材の利用を推進しますと」併記という形で調整したい。
- ・ **山村委員**：農業者減少や費用高騰の課題はあるが、生産支援を含めて普及センターとしても引き続き取り組んでいく。

3. 今後のスケジュール・連絡事項

- ・ **修正と今後の手続き**：本日の意見を踏まえ、素案の修正箇所を見直し。11月に庁議提案、12月に議会へパブリックコメントの実施について説明予定。
- ・ **パブリックコメント**：1月5日～2月3日（30日間）実施予定。
- ・ **次回会議の開催について**
 - ・ **事務局（安部）**：パブリックコメントで意見があった場合は開催する。パブリックコメントで意見がない場合は会議を開催せ

ず、軽微な修正等については梅木会長に確認を伺うことで了承
いただけるか。

・ 委員：了承